

第 7 2 9 回建設技術講習会 現場研修事業の概要

1 野村ダム施設改修事業〔四国地整〕

…………… 愛媛県西予市

- ・平成 30 年 7 月豪雨では、肱川流域において甚大な浸水被害が発生し、野村ダムにおいても洪水調節機能のさらなる強化が求められている。
- ・本事業では、新たな放流設備を整備し、事前放流によって確保した洪水調節容量を有効に活用できる運用を可能とすることで、洪水時の治水機能向上を図る。また、ダムの操作性や安全性の向上にも取り組んでいる。
- ・さらに、鹿野川ダム改造事業や肱川下流部の河川改修と連携し、流域全体で治水対策を推進することで、平成 30 年 7 月豪雨と同規模の洪水に対しても浸水被害の軽減を目指し、肱川流域の治水安全度向上に寄与する。



2 (一) 肱川大規模特定河川事業〔愛媛県〕

…………… 愛媛県西予市

- ・平成 30 年 7 月豪雨では、西予市野村地区をはじめとする肱川流域で大規模な浸水被害が発生した。愛媛県では、この災害を踏まえ、「肱川水系河川整備計画」に基づく大規模特定河川事業を実施している。
- ・本事業では、河道掘削や堤防整備、引堤などにより河川の流下能力を向上させるとともに、洪水の流れを阻害していた野村大橋の架け替えを進めている。橋脚数を減らすことで、洪水をより安全に流下させることを目指している。
- ・また、西予市が進める復興まちづくりと連携し、防災機能の強化と地域再生の両立を図っている。本事業は、流域全体の治水安全度の向上と、将来にわたり安心して暮らせる地域づくりを支える重要な河川整備事業である。



3 松山駅周辺土地地区画整理事業〔松山市〕

…………… 愛媛県松山市

- ・松山駅周辺土地地区画整理事業は、JR 松山駅付近連続立体交差事業と一体的に進められている都市基盤整備事業である。鉄道により分断されていた市街地の一体化と、県都松山の玄関口にふさわしい都市空間の形成を目的としている。
- ・本事業では、約 16.7ha を対象に道路や駅前広場、公園などの公共施設を計画的に整備するとともに、宅地の再編を行い、土地利用の高度化と良好な市街地環境の形成を進めている。
- ・これにより、交通結節機能の強化や東西交通の円滑化、歩行者・自転車の利便性向上が期待されるほか、駅周辺のにぎわい創出や交流人口の拡大を促進し、中心市街地の活性化と持続的な都市発展に寄与する。

